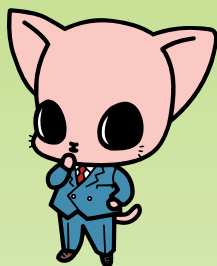


しまぎんの 経営情報

2010年(平成22年)3月期
【単体ベース】



マスコットキャラクター
“シマニー”

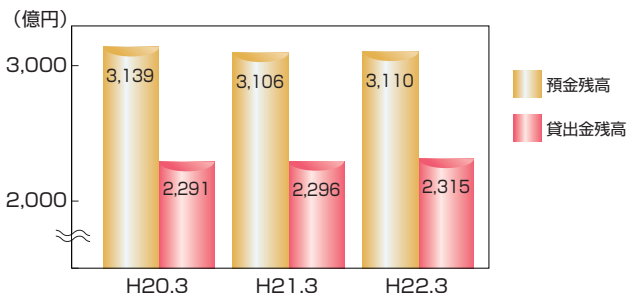
1. 預金・貸出金、個人預り資産

預金・貸出金および個人預り資産の状況は次のとおりです。

預金・貸出金

(百万円)

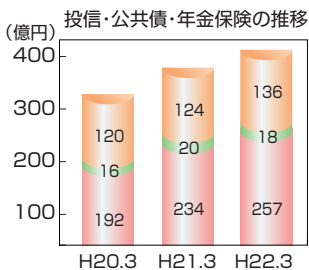
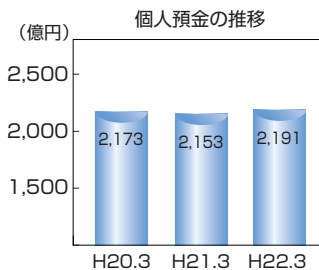
区 分	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
預金残高	313,943	310,668	311,094
個人預金	217,329	215,355	219,187
法人預金	67,549	62,097	63,982
公金預金	22,376	31,275	25,522
金融機関預金	6,688	1,939	2,401
貸出金残高	229,166	229,651	231,522
中小企業向け貸出	130,565	124,537	117,402
個人向け貸出	63,621	66,589	67,799



個人預り資産

(百万円)

区 分	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
個人預り資産	250,294	253,259	260,421
個人預金	217,329	215,355	219,187
投資信託	12,087	12,416	13,601
公共債	1,618	2,027	1,891
年金保険	19,259	23,459	25,741



投資信託 公共債 年金保険

2. 有価証券

有価証券の運用残高および評価差額等は次のとおりです。

運用残高

(億円)

区 分	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	
運 用 残 高	779	767	790	
内 訳	債 券	627	553	622
	株 式	35	58	45
	その他	116	156	122

評価差額等

(億円)

区 分	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	
満期保有目的の債券等	差 額	▲2	▲2	0
その他有価証券	評価差額	▲6	▲26	9
内 訳	債 券	▲1	▲1	6
	株 式	▲2	▲8	1
	その他	▲3	▲16	0

※金額が過少なため、上記「運用残高」、「評価差額等」には、「売買目的の商品有価証券」は含んでおりません。

※「子会社・関連会社株式」で時価のあるものはありません。

※差額および評価差額は、各決算日の時価に基づき算出しております。ただし、内訳中の「株式」および「その他」に含まれる上場受益証券等の評価差額は、期末1カ月の市場価格の平均時価に基づき算出しております。なお、平成20年10月28日に企業会計基準委員会より公表された「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会実務対応報告第25号）を踏まえ、平成21年3月期より、変動国債の時価については、合理的に算定した価額に基づき時価を算定しております。

※平成20年3月期より、「その他有価証券」で時価のある株式および投資信託について、減損処理を行う場合の時価の回復可能性の判断基準を厳格化し、期末前1カ月間の平均時価が30%以上下落しているものについては、すべて減損処理を行っております。

3. 経営成績

経常収益は、株式等売却益が増加しましたが、貸出金利回りの低下を主因として貸出金利息が減少したことや、国債等債券売却益が減少したことなどから、前年同期比637百万円減収の8,100百万円となりました。一方、経常費用は、営業経費が増加しましたが、与信費用、有価証券関係費用が減少したことや、預金利回りの低下を主因として預金利息が減少したことなどから、前年同期比1,026百万円減少し7,031百万円となりました。

この結果、業務純益は前年同期比443百万円減少の1,336百万円、経常利益は前年同期比389百万円増加の1,068百万円、当期純利益は前年同期比171百万円増加の602百万円となりました。

(百万円)

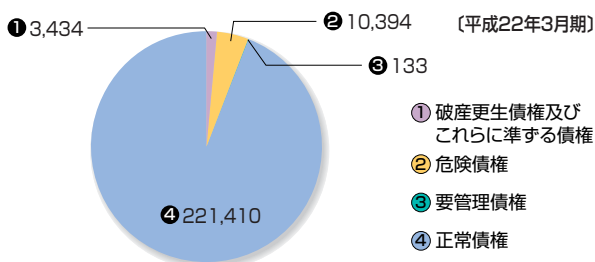
区 分	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
経 常 収 益	8,160	8,737	8,100
経 常 費 用	11,799	8,058	7,031
業 務 純 益	704	1,779	1,336
経常利益(▲は経常損失)	▲3,639	679	1,068
当期純利益(▲は当期純損失)	▲3,962	431	602

4.不良債権

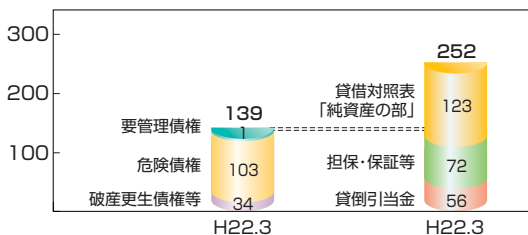
金融再生法に基づく開示債権額（貸出金及び支払承諾等貸出金に準ずる債権を対象）は次のとおりです。

(百万円)

区 分	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,544	3,523	3,434
危険債権	11,522	10,905	10,394
要管理債権	2,442	463	133
計 ①	19,509	14,892	13,961
正常債権	214,486	219,011	221,410
合計 ②	233,996	233,903	235,372
不良債権の割合 ③/②	8.33%	6.36%	5.93%



(億円) 金融再生法開示債権に対する保全・引当等の状況



金融再生法に基づく開示債権について

- ◆「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産・会社更生・再生手続き等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権を指しており、担保等で保全されていない部分については、既に、貸倒引当金にてフルカバーしております。
- ◆「危険債権」とは、債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約どおりの返済を受けることがなくなる可能性の高い債権を指し、「要管理債権」とは、要注意先に対する債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権を指しており、それぞれ区分に見合った貸倒引当金を計上しております。
- ◆この金融再生法開示債権（いわゆる不良債権）139億円対しましては引当金56億円、担保・保証等72億円、計129億円が計上されており、正味の不足額は10億円であります。この全額が万一回収不能となった場合でも、これに対する当行の純資産の部合計額はその11倍強（123億円）あり、不良債権に対する備えは十分にあります。

銀行法に基づくリスク管理債権額（貸出金のみを対象）は次のとおりです。

(百万円)

区 分	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
破綻先債権	2,469	1,279	912
延滞債権	14,556	12,921	12,696
3ヵ月以上延滞債権	48	34	10
貸出条件緩和債権	2,393	428	122
計◎	19,468	14,664	13,742
貸出金残高(未残)①	229,166	229,651	231,522
不良債権の割合◎/①	8.49%	6.38%	5.93%

5. 自己資本比率

自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。

区 分	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
自己資本比率	8.11%	8.24%	9.18%
基本的項目(Tier1)比率	6.03%	6.45%	7.34%

自己資本比率について

- ◆当行のように海外に営業拠点を有しない銀行は国内基準の対象となり、自己資本比率が4%以上あることが求められています。
- ◆平成22年3月期の自己資本比率は9.18%であり、国内基準の4%をクリアしています。

基本的項目(Tier1)比率について

- ◆基本的項目(Tier1)比率とは、自己資本の根幹を成す「基本的項目」(資本金や剰余金など)によって算出される比率のことです。
- ◆平成22年3月期のTier1比率は7.34%であり、この比率でも国内基準をクリアしています。

6. 企業の社会的責任(CSR)への取組み

当行では、お客さま・株主の皆さま・従業員・地域社会からのご期待にお応えするため、従来から多方面にわたる企業活動を推進しております。

今回、その中から、以下の活動をご紹介します。

◆「島根県がん対策募金」への寄付金贈呈

地域社会の皆さまとともに、がん対策を支援していくため、この趣旨にご賛同頂きお預け頂いた預金金額の一定割合を当行が関連事業に寄付するといった定期預金商品「がん対策募金定期預金」を平成21年10月19日から取扱いいたしましたところ、多くの皆様のご協力を得ることができました。

本定期預金は現在も取扱中でございますが、本取組みの趣旨に鑑み、平成22年3月5日に財団法人島根難病研究所内にごさいます「島根県がん対策募金」へ当初予定どおり250万円を寄付させて頂きました。

今後におきましても、こうした社会問題に対する支援に積極的に取組んで参ります。



は次のとおりでございます。

(件、百万円)

区 分	件 数	金 額
中小企業者		
受 付	443	8,087
実 行	310	6,277
謝 絶	1	2
取 下	26	507
審 査 中	106	1,301
住宅資金借入者		
受 付	133	1,350
実 行	43	425
謝 絶	0	0
取 下	22	244
審 査 中	68	681
合 計		
受 付	576	9,437
実 行	353	6,702
謝 絶	1	2
取 下	48	751
審 査 中	174	1,982

今後も当行と融資取引のある中小企業の皆様および住宅資金をご利用頂いている皆様からのご要望に適切にお応えし、また条件変更等を取組みした皆様には、アフターフォロー等を全役職員が一丸となって取組んでまいります。

〔しまぎん店舗のご案内〕

■島根県(25カ店)

◎松江市(11カ店)

本店営業部 TEL(0852)24-4000
北出張所 TEL(0852)24-1451
松江駅前支店 TEL(0852)24-1351
南出張所 TEL(0852)24-1251
津田支店 TEL(0852)24-1551
松江御園地支店 TEL(0852)24-1651
山代支店 TEL(0852)24-1751
黒田支店 TEL(0852)23-7777
上乃木支店 TEL(0852)22-7755
学園通支店 TEL(0852)21-2120
松江営業センター出張所 TEL(0852)24-1564

◎隠岐郡(1カ店)

西郷支店 TEL(08512)2-1224

◎安来市(1カ店)

安来支店 TEL(0854)22-3535

◎出雲市(5カ店)

出雲支店 TEL(0853)30-6611
出雲東出張所 TEL(0853)22-5260
出雲中央出張所 TEL(0853)23-6262
大社支店 TEL(0853)53-2142
平田支店 TEL(0853)62-2314

◎雲南市(2カ店)

大東支店 TEL(0854)43-2621
雲南支店 TEL(0854)45-5557

◎簸川郡(1カ店)

斐川支店 TEL(0853)72-5200

◎大田市(1カ店)

大田支店 TEL(0854)82-0395

◎江津市(1カ店)

江津支店 TEL(0855)52-2626

◎浜田市(1カ店)

浜田支店 TEL(0855)22-0276

◎益田市(1カ店)

益田支店 TEL(0856)22-2222

■鳥取県(9カ店)

◎米子市(4カ店)

米子支店 TEL(0859)34-3131
角盤町支店 TEL(0859)32-5121
米子駅前支店 TEL(0859)33-5221
米子東支店 TEL(0859)22-7370

◎境港市(1カ店)

境支店 TEL(0859)42-3761

◎日野郡(1カ店)

根雨支店 TEL(0859)72-0371

◎倉吉市(1カ店)

倉吉支店 TEL(0858)22-4158

◎鳥取市(2カ店)

鳥取支店 TEL(0857)22-3118
鳥取駅南出張所 TEL(0857)24-8141

本ミニ・ディスクロージャー誌は、しまぎんの主要な経営情報をタイムリーに、また、分かりやすくお伝えすることを目的として作成しております。

今後も地域の皆さまに、積極的な経営内容の情報開示をおこなってまいります。

なお、本誌記載の情報は当行ホームページに掲載しております。

島根銀行 (平成22年5月発行)

お問合せ先：人事財務グループ
松江市東本町2-35 〒690-0842
TEL.0852-24-1234 (代表)
URL.<http://www.shimagin.co.jp>

